

令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-02-01		
施設名	ふるさと文化館				
所在地	南千住六丁目63番1号（南千住図書館併設）				
部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
建築	平成9年	3,600,000	0	0	3,600,000
増改築①					
増改築②					
併設施設					
竣工年月日	平成10年5月1日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成10年5月1日		職員数	11人	0人
構造	鉄筋コンクリート造		階層	地上4階、地下1階	
面積	敷地面積		2723.96㎡		
	延床面積		2584.59㎡		
設置目的・経緯	区民の生涯学習の振興並びに荒川区における教育、学術及び文化の発展に寄与するため				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区立荒川ふるさと文化館条例				
駐車場の状況	8台	バリアフリー 対応状況	● エレベーター ○ 点字ブロック	● だれでもトイレ ○ スロープ	
駐輪場の状況	80台				



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から -	まで					
事業内容	①荒川区の考古、歴史、民俗等資料の収集及び保存②常設展示及び特別展示事業（企画展等）③資料の専門的な調査研究④文化財の保存及び活用⑤郷土学習のレファレンス（資料紹介や学習アドバイス、団体見学対応等）⑥教育、学術及び文化の振興に関する事業（各種講座）⑦伝統技術の保護と育成（荒川学校職人教室、伝統技術展、荒川区伝統工芸技術継承者育成事業、伝統工芸ギャラリーの運営等）										
対象者	区民全般・荒川ふるさと文化館利用者等										
運営時間等	運営時間	午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）									
	休日	月曜日（祝日、振替休日の場合は翌日）、毎月第2木曜日、年末年始（12月29日～1月4日）、館内整理日									
施設基本データ等	観覧者数（有料）（人）	平成27年度	4,288	平成28年度	3,192	平成29年度	2,914	平成30年度	2,539	令和元年度（見込み）	3,000
	観覧者数（無料）（人）	13,369	12,338	15,441	14,498	17,000					
	観覧者 合計（人）	17,657	15,530	18,355	17,037	20,000					
	郷土学習室利用者（人）	5,365	3,555	-	-	-					
	伝統工芸ギャラリー入場者（人）	-	-	20,059	19,897	25,000					
	視聴覚室（件）	20	14	9	12	20					
	研修室（件）	30	22	24	21	30					
	開館日数（日）	302	298	289	286	289					
に指定管理 に係る費用											
備考	郷土学習室は、平成28年度まで実施。あらかわ伝統工芸ギャラリーは、平成29年度5月から開設した。										

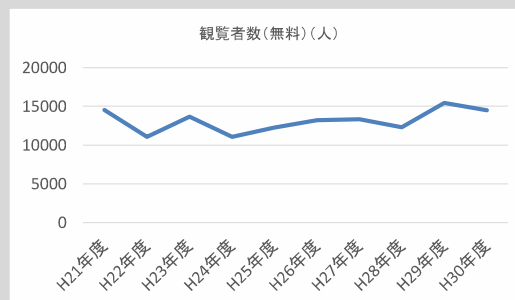
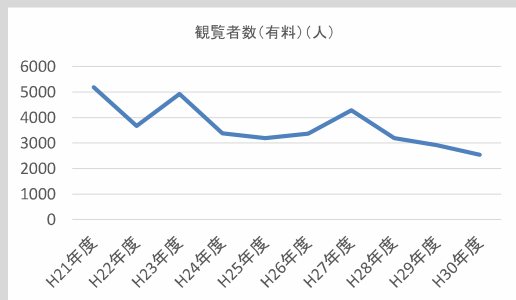
III 財務諸表

		勘定科目			H29年度	H30年度	差額			勘定科目			H29年度	H30年度	差額	
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	54,135	53,228	▲ 907	地方税等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		物件費	48,729	64,471	▲ 15,742	国庫支出金	1,250	1,000	▲ 250	2,160	1,287	▲ 873	365	311	▲ 54	
		維持補修費	3,232	1,870	▲ 1,362	都支出金	2,160	1,287	▲ 873	0	0	0	218	380	162	
		扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	3,993	2,978	▲ 1,015	0	0	0	
		補助費等	21,043	20,557	▲ 486	使用料及び手数料	365	311	▲ 54	▲ 167,660	▲ 179,676	▲ 12,016	0	0	0	
		減価償却費	40,228	40,228	0	その他	218	380	162	▲ 167,660	▲ 179,676	▲ 12,016	0	0	0	
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	3,993	2,978	▲ 1,015	▲ 167,660	▲ 179,676	▲ 12,016	0	0	0	
		賞与・退職給与引当金繰入額	4,286	2,300	▲ 1,986	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 167,660	▲ 179,676	▲ 12,016	0	0	0	0	0	0	
		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		行政費用合計(b)	171,653	182,654	11,001	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 167,660	▲ 179,676	▲ 12,016	0	0	0	0	0	0	0
		特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 167,660	▲ 179,676	▲ 12,016							
		貸借対照表	固定資産	収入未済	0	0	0	流動負債	2,201	2,300	99	還付未済金	0	0	0	0
不納欠損引当金	0			0	0	特別区債	0	0	0	賞与引当金	2,201	2,300	99	0	0	
その他の流動資産	0			0	0	賞与引当金	2,201	2,300	99	その他の流動負債	0	0	0	0	0	
有形固定資産	685,369			645,141	▲ 40,228	固定負債	27,347	18,563	▲ 8,784	特別区債	0	0	0	0	0	
土地	0			0	0	退職給与引当金	27,347	18,563	▲ 8,784	その他の固定負債	0	0	0	0	0	
建物	1,489,932			1,489,932	0	負債の部合計	29,548	20,863	▲ 8,685	正味財産	884,219	855,798	▲ 28,421	884,219	855,798	▲ 28,421
建物減価償却累計額	▲ 804,563			▲ 844,791	▲ 40,228	正味財産の部合計	884,219	855,798	▲ 28,421	負債及び正味財産の部合計	913,767	876,661	▲ 37,106	913,767	876,661	▲ 37,106
工作物等	0			0	0											
工作物等減価償却累計額	0			0	0											
無形固定資産	0			0	0											
建設仮勘定	2,734	2,734	0													
その他の固定資産	225,664	228,786	3,122													
資産の部合計	913,767	876,661	▲ 37,106													
備考	行政費用では物件費が多くかかっている。物件費のうち、大部分を占めるのは施設管理に係る委託料である。行政収入では都支出金が30年度は1,287千円となっており、29年度より873千円減少した。															

	指標	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	51	54.0	56.7	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	24	24	23.8	
	1㎡当たりコスト(円)	-	71,570	66,414	70,670	
	来館者1人当たりコスト(円)	-	11,911	8,079	9,180	
	開館一日当たりコスト(円)	-	619,543	593,955	638,650	
備考	前年度と比較して全体的にコストが増加しているが、これは行政費用の物件費が増加しているためである。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	観覧者数(人)	目標値 実績値	- 16,556	- 17,657	- 18,355	- 17,037
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ) ● 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	○経年劣化により建物全体の修繕箇所が増えてきており、荒川区公共施設等総合管理計画に基づき、計画的に修繕を行っていく必要がある。 ○あらかわ伝統工芸ギャラリーの整備を契機に、さらなる施設来館者及び事業参加者数の増加に向けた事業や周知策を行う必要がある。 ○奥の細道に関する特設コーナー設置や、荒川ふるさと文化館の名称変更等を検討する必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○あらかわ伝統工芸ギャラリーや各種事業のPRを強化し、荒川区の伝統文化の魅力を区内外に広く発信し、施設来館者や事業参加者の増加につなげていく。 ○併設の南千住図書館と協力し、計画的に事業の運営・修繕等を行っていく。					
議会、利用者等からの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度2月会議 荒川ふるさと文化館のあり方について</li> <li>平成28年2月予特、9月決特 ふるさと文化館の名称変更等について</li> <li>平成29年2月決特 伝統工芸ギャラリーについて</li> <li>平成29年9月決特 ふるさと文化館の名称変更、施設の位置付け等について</li> </ul>					



令和元年度 施設分析シート

<b>I 施設の概要</b>		施設コード	S05-02-02		
施設名	生涯学習センター				
所在地	荒川三丁目49番1号				
部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
建築	昭和45年				
増改築①	平成8年	303,300			
増改築②					
併設施設	教育センター				
竣工年月日	昭和45年		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成9年		職員数	15	7
構造	R C造		階層	4階	
面積	敷地面積		6,766.09㎡		
	延床面積	2,970.35㎡ (4530.36㎡のうち)	㎡		
設置目的・経緯	区民の生涯にわたる学習の場の提供や講座の開催、生涯学習の情報提供、学習相談など、学習活動の推進を図る。				
関連部署	文化交流推進課、教育委員会事務局教育センター課、福祉部高齢者福祉課				
根拠法令等 設置条例	荒川区立生涯学習センター条例・施行規則				
駐車場の状況	1台	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	50台	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



**II 管理運営の状況**

管理形態	指定管理	(株)読売・日本テレビ文化センター	期間	平成30年度 令和4年度	から まで	
事業内容	区民カレッジ、サークル活動の支援、学習活動の相談、生涯学習情報提供、IT学習・専修学校公開講座					
対象者	一般区民					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時				
	休日	年末年始、館内整備等による臨時休館				
施設基本データ等	利用者数(人)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)
	利用件数(件)	170,758	156,441	137,572	134,378	150,000
	区民カレッジ講座数	51	61	66	76	72
	区民カレッジ受講者数	3,853	3,688	4,053	4,046	4,100
	IT講習会参加者数	716	754	776	938	950
	IT自習室参加者数	1,971	1,971	774	637	700
	貸室稼働率	64	64	66	65	70
に指定管理 等費用	指定管理料(千円)	60,940	60,819	61,739	66,734	67,472
	指定管理者の支出合計(千円)	61,149	62,932	63,743	63,436	67,311
	指定管理者の人件費(千円)	19,035	19,903	19,902	18,947	22,100
	指定管理者の利用料金収入(千円)	2,112	1,996	2,088	1,996	2,116
備考	平成29年度 PCの入れ替えのため、4月のIT自習室実施なし。また、実施回数を変更し、隔日実施とした。					

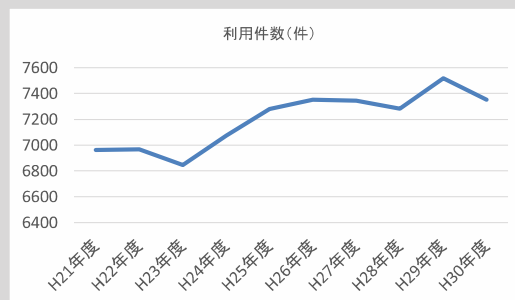
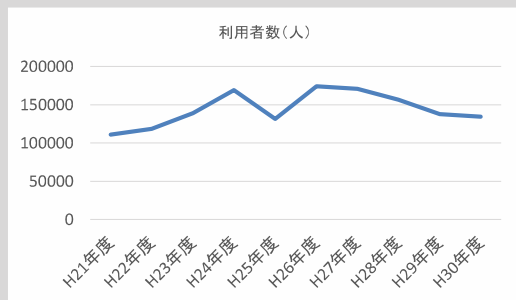
**III 財務諸表**

		(単位:千円)						
行政コスト計算書	勘定科目	H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	67,086	70,514	3,428	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	594	2,257	1,663	都支支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	48	48	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	434	445	11
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	434	445	11
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 67,294	▲ 72,374	▲ 5,080
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	67,728	72,819	5,091	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 67,294	▲ 72,374	▲ 5,080
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 67,294	▲ 72,374	▲ 5,080
貸借対照表	勘定科目	H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	35,226	35,226	0	その他の流動負債	0	0	0
	土地	35,226	35,226	0	固定負債	0	0	0
	建物	170,717	170,717	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 170,717	▲ 170,717	0	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	17,800	17,800	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 17,800	▲ 17,800	0	負債の部合計	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	39,476	39,476	0
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	39,476	39,476	0
その他の固定資産	4,250	4,250	0	負債及び正味財産の部合計	39,476	39,476	0	
資産の部合計	39,476	39,476	0					
備考	行政費用では、指定管理料57,367千円を含む、物件費が多くなっている。また、29年度は空調機取替修繕により594千円、30年度は南側ブロック塀およびプール壁面改修工事により1,274千円、多目的広場不陸整正工事により983千円、維持補修費がかかっている。							

	指標	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	100.0	100.0	100.0	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	58	58	57.5	
	1㎡当たりコスト(円)	-	14,578	14,950	16,074	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	-	32	31	29.9	
	開館1日当たりコスト(円)	-	185,520	190,247	204,548	
	利用者1人当たりコスト(円)	-	422	492	542	
	区民1人当たりコスト(円)	-	310	316	339	
	受益者負担比率(%)	-	3	3.0	2.9	
備考	30年度の利用者1人当たりコストが29年度と比較して50円上昇しているが、利用者数の減少等によるものである。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	利用件数	目標値 7,300 実績値 7,344	7,300 7,283	7,500 7,517	7,500 7,351	7,500 7,500
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: ~平成15年度 直営 平成16・17年度 委託 平成18年度~ 指定管理) ○ 無					
利用者・地域のニーズ	区民の生涯学習活動の拠点施設として、生涯学習を推進していく必要性は高い。					
現状・課題	○利用者アンケート等を踏まえて、一層の事業の充実や利用者サービスの向上を図る必要がある。 ○施設・設備の老朽化が進んでおり、生涯学習推進計画施策の柱1「学びの基盤を整備・拡充する」や、荒川区公共施設等総合管理計画に基づき、計画的に改修工事や修繕を行っていく必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○利用者に対して、積極的な声掛けを行い、利用者の側に立ったサービスの質を高める。 ○区民カレッジについて、参加者アンケートを参考にしながら、俳句などの荒川区ならではの講座を行う等、さらに内容の充実を図る。 ○利用者アンケートで特に要望が多いトイレ改修については計画的に3箇所を洋式化したところであり、今後も引き続き改修を進め、安全で快適な利用環境を整える。					
議会、利用者等からの意見	<議会> ・平成25年度 予特 「多目的広場の大人の利用について」 ・平成28年度 予特、平成29年度 11月会議、平成30年度 9, 11月会議 「体育館への空調設置について」					



令和元年度 施設分析シート

<b>I 施設の概要</b>		施設コード	S05-02-03		
施設名	町屋文化センター				
所在地	荒川区荒川七丁目20番1号				
部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築	昭和63年	国・都	区債	一般財源
	増改築① 増改築②				
併設施設					
竣工年月日	昭和63年9月30日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和63年11月1日	職員数	6		
構造	鉄骨鉄筋コンクリート	階層	3階		
面積	敷地面積	4,137.28㎡			
	延床面積	2,400㎡			
設置目的・経緯	多くの区民の学習・文化活動の場を提供し、生涯教育の推進と地域文化の振興を図る。				
関連部署	文化交流推進課				
根拠法令等 設置条例	荒川区立町屋文化センター条例、同施行規則、荒川区立町屋文化センターの使用の予約に係る手続き等に関する要綱				
駐車場の状況	無	バリアフリー	エレベーター	だれでもトイレ	
駐輪場の状況	80台	対応状況	● 点字ブロック	○ スロープ	



**II 管理運営の状況**

管理形態	指定管理	公益財団法人 荒川区芸術文化振興財団	期間	平成30年4月1日 令和5年3月31日	から まで	
事業内容	カルチャー講座、自主事業（一日文化体験・なないろひろば）等					
対象者	荒川区内在住・在勤・在学者					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時				
	休日	年末年始、年3回の保守点検日				
施設基本データ等	貸室利用者数(人)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)
	貸室ホール稼働率(%)	185,624	178,995	182,093	174,283	180,000
	カルチャー講座数(講座)	74	76	75	76	75
	カルチャー講座受講者数(人)	671	659	689	689	680
	指定管理料(千円)	4,684	4,388	4,388	4,069	4,500
	指定管理者の支出合計(千円)	24,192	24,257	24,192	24,627	25,116
	指定管理者の人員費(千円)	37,213	36,886	37,151	38,342	39,111
	指定管理者の利用料金収入(千円)	3,892	3,738	3,695	3,435	3,691
指定管理者の利用料金収入(千円)	14,144	13,929	13,599	13,890	13,995	
に指定管理 に係る費用						
備考						

**III 財務諸表**

		(単位:千円)						
勘定科目		H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	24,289	24,638	349	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	1,452	1,452	都支支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	15,068	15,068	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	18,096	18,096	0	その他	770	960	190
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	770	960	190
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 56,683	▲ 58,294	▲ 1,611
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	57,453	59,254	1,801	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 56,683	▲ 58,294	▲ 1,611
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 56,683	▲ 58,294	▲ 1,611
貸借対照表	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	803,343	785,247	▲ 18,096	その他の流動負債	0	0	0
	土地	657,907	657,907	0	固定負債	0	0	0
	建物	670,212	670,212	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 524,776	▲ 542,872	▲ 18,096	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	803,343	785,247	▲ 18,096
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	803,343	785,247	▲ 18,096
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	803,343	785,247	▲ 18,096	
資産の部合計	803,343	785,247	▲ 18,096					

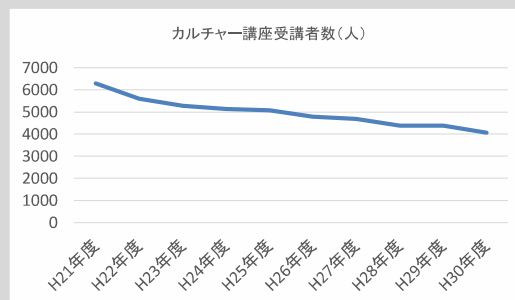
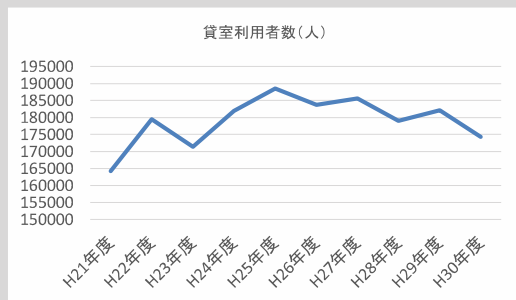
備考  
行政費用では、指定管理料24,627千円を含む物件費が多くかかっている。また、イストビル町屋管理組合に支払う管理・修繕として、補助費等が15,068千円かかっている他、30年度はプレイコーナーの床改修工事等で維持補修費が1,452千円かかっている。



	指標	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	76	78	81.0	-
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	35.0	-	-	-
	1㎡当たりコスト(円)	-	24,144	23,939	24,689	-
	人にかかるコストの割合(%)	-	10	10	9	-
	開館1日当たりコスト(円)	-	16,277	16,138	16,644	-
	利用者1人当たりコスト(円)	-	324	316	340	-
	区民1人当たりコスト(円)	-	272	268	276	-
	受益者負担比率(%)	-	20	19	19.0	-
備考	30年度はプレイコーナーの床改修工事等で維持補修費がかかり、行政費用が増加したため、各種コストが増加した。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	利用者数(人)	目標値 実績値	- 185,624	- 178,995	- 182,093	- 174,283
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ) ● 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	○開設から31年を経過する施設であるため、設備や備品の老朽化が進んでいる。その都度、小規模な修繕をしたり、新たな備品を購入したりして対応しているが、施設としての快適さが十分とはいえず、計画的な修繕及び改修等を進める必要がある。 ○快適な施設利用や地域のニーズに応じた講座やイベント等の充実に努め、利用者の増加につなげる必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○施設の老朽化箇所について、安全性を考慮しながら適切に修繕を行うほか、荒川区公共施設等総合管理計画に基づいた改修を順次進めて、利用者にとって安全で快適な施設を提供する。 ○施設利用者アンケートやカルチャー講座の受講者アンケートからニーズを把握し、指定管理者と協議を重ねながら、講座等の充実に図り、利用者の増加につなげていく。					
議会、利用者等からの意見	平成30年度決特 町屋文化センターのリニューアルについて 平成30年度11月会議 町屋文化センターの改修について 平成30年度2月会議 町屋文化センターのリニューアル状況の検討について					



令和元年度 施設分析シート

<b>I 施設の概要</b>		施設コード	S05-02-04		
施設名	清里高原ロッジ及び清里高原少年自然の家				
所在地	山梨県北杜市高根町清里3545番5				
部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
建築	昭和58年	810,551	199,563	0	610,988
増改築①					
増改築②					
併設施設					
竣工年月日	昭和58年4月15日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和58年4月15日	職員数	7人・2人		
構造	RC造	階層	2階		
面積	敷地面積	32,322㎡			
	延床面積	3,999.96㎡			
設置目的・経緯	区民の健康増進、青少年の健全育成				
関連部署	指導室、学務課				
根拠法令等 設置条例	荒川区立清里高原ロッジ条例、荒川区立清里高原少年自然の家条例、両条例施行規則				
駐車場の状況	約20台	エレベーター	● だれでもトイレ		
駐輪場の状況	無	対応状況	○ 点字ブロック	○ スロープ	



**II 管理運営の状況**

管理形態	指定管理	(株)旺栄	期間	平成30年度 令和4年度	から まで	
事業内容	移動教室等の宿泊事業、一般団体及び社会教育関係団体の宿泊、指定管理者自主事業等					
対象者	荒川区内外及び山梨県北杜市に在住、在勤、在学する者					
運営時間等	運営時間	-				
	休日	寒冷地にあるため、11月上旬～4月下旬は閉鎖であったが、利用促進のため平成31年度より冬季営業開始。令和3年度より通年営業予定。				
施設基本データ等		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (見込み)
	一般利用者 (人)	1,757	1,657	2,170	2,546	3,046
	学校利用者 (人)	6,889	5,467	5,396	5,516	5,720
	合計 (人)	8,646	7,124	7,566	8,062	8,766
	施設稼働率 (%)	35	30	31	37	35
	開所日数	190	189	191	187	191
に指定管理 等に係る費用	指定管理料 (千円)	51,015	55,826	56,093	56,784	57,090
	指定管理者の支出合計 (千円)	72,139	69,282	77,015	89,252	74,040
	指定管理者の人件費 (千円)	17,094	16,028	19,116	21,735	20,256
	指定管理者の利用料金収入 (千円)	22,696	18,824	19,083	21,611	19,092
備考	学校利用が平成26～28年度にかけて大きく減少しているのは、夏季に教育委員会で実施していた「清里高原学園」が、平成27年度から実施校減少、平成28年度から休止となったためである。なお、一般利用については、区内団体への積極的なPRや指定管理者の自主事業の実施等により、集客努力を回った結果、増加傾向にある。					

**III 財務諸表**

		(単位:千円)					(単位:千円)		
		勘定科目	H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
		物件費	100,329	101,537	1,208	国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	14,580	8,314	▲ 6,266	都支支出金	0	0	0
		扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	192	128	▲ 64	使用料及び手数料	0	0	0
		減価償却費	23,121	23,400	279	その他	4,840	4,995	155
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	4,840	4,995	155
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 133,382	▲ 128,384	4,998
		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
		行政費用合計(b)	138,222	133,379	▲ 4,843	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 133,382	▲ 128,384	4,998
		特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
		特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 133,382	▲ 128,384	4,998
貸借対照表	固定資産	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
		有形固定資産	46,271	146,554	100,283	賞与引当金	0	0	0
		土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
		建物	841,289	964,287	122,998	固定負債	0	0	0
		建物減価償却累計額	▲ 795,018	▲ 817,733	▲ 22,715	特別区債	0	0	0
		工作物等	94,259	94,259	0	退職給与引当金	0	0	0
		工作物等減価償却累計額	▲ 94,259	▲ 94,259	0	その他の固定負債	0	0	0
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
		建設仮勘定	5,832	0	▲ 5,832	正味財産	55,242	154,385	99,143
		その他の固定資産	3,139	7,831	4,692	正味財産の部合計	55,242	154,385	99,143
資産の部合計	55,242	154,385	99,143	負債及び正味財産の部合計	55,242	154,385	99,143		
備考	行政費用では、指定管理者委託料56,784千円を含む物件費が多くかかっている。また、30年度は非常用放送設備修繕、浴室及び脱衣室修繕を実施したため、維持補修費が8,314千円がかかっている。行政収入としては、参加者の賄費等として4,995千円がある。								

	指標	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率	-	93	95	86.2	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	48	48	42.7	
	1㎡当たりコスト(円)	-	24,308	34,626	33,345	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	-	23	25	24.4	
	開所1日当たりコスト(円)	-	514,450	725,136	713,257	
	利用者1人当たりコスト(円)	-	13,648	18,306	16,544	
	受益者負担比率(%)	-	17.0	13	13.0	
備考	平成30年度から指定管理者が変更となり、運営当初の混乱等からコストがかさみ、指定管理者の支出合計が増加した。一方、自主事業における新たな取り組みなどにより利用料金収入も増加した。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
目標指標	指標名・単位	目標値	-	-	-	2,000	2,500
	一般利用者数(人)	実績値	1,646	1,757	1,657	2,170	
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他( )						
管理形態の変更の推移	<input checked="" type="radio"/> 有 (変更内容: 委託から指定管理へ) <input type="radio"/> 無						
利用者・地域のニーズ							
現状・課題	<p>○開設から35年が経過し、設備や備品、また施設自体の老朽化が進んでおり、計画的な修繕や備品の更新が必要である。</p> <p>○令和元年度試験的に行う冬季の施設開設について、区と指定管理者で実施状況を検証し、来年度以降の本格実施に向けて、協議を重ねていく必要がある。</p> <p>○夏期学園休止に伴い、平成27年度以降は学校利用者が減少しており、一般利用や団体利用の新規獲得策を講じる必要がある。</p>						
課題に対する現時点での考え	<p>○荒川区公共施設等総合管理計画に基づき、順次、大規模改修や老朽化した設備の修繕や備品の更新を図る必要がある。</p> <p>○指定管理者が提案する自主事業を取り入れるなどして、利用者数の増加を図る。</p> <p>○施設の魅力を積極的にPRするとともに、ランニング合宿や農業体験など、清里の環境を活かした自主事業を充実することにより、一般利用や団体利用の促進を図る。</p>						
議会、利用者等からの意見	<p>○平成28年2月予特 通年開設の検討について</p> <p>○平成27年度6月会議 トイレの洋式化について</p> <p>○平成29年2月予特 施設を活用した高地トレーニング等の提案について</p>						

